

大切なものを守るために・・・

【堤防決壊時ブロック投入実験】



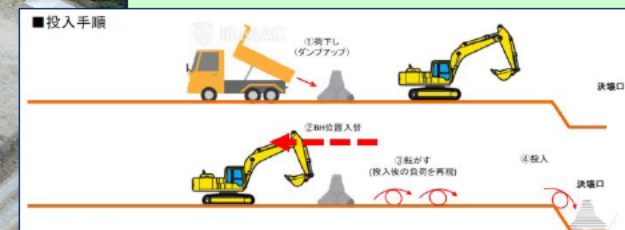
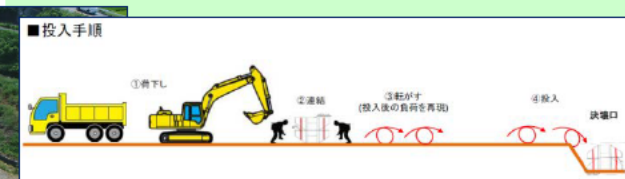
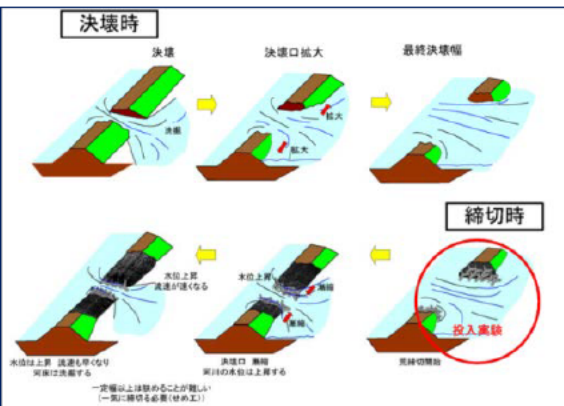
中部地震津波対策
技術センター

中部技術事務所

平成30年7月27日、天竜川156k p右岸（長野県下伊那郡高森町山吹）にて行われた堤防決壊時の緊急対応を想定した実験に、中部技術事務所の異形ブロック投入安全装置を活用しました。



当日は、2 tの十字ブロック・5 tのテトラポッドを使ってクレーンによる投入のほか、ヤード中央に決壊口に見立てたくぼみを設け、バックホウによる投入の実験も行いました。



“堤防決壊”といえば、西日本豪雨での岡山県倉敷市真備町の被害が記憶に新しいところですが、万が一、このような事態に今回の実験の成果が生かされるよう、今後、さらなる検討を考えています。